

地球温暖化対策計画書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者)の名称	株式会社アオキスーパー		
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	名古屋市中村区鳥居西通一丁目1番地		
工場等の名称	ショッピングセンターアズパーク		
工場等の所在地	名古屋市中川区新家一丁目2421番地		
業種	不動産業、物品賃貸業		
業務部門における 建築物の主たる用途	物販店		
建築物の所有形態	賃貸ビル等(賃貸している建築物)		
事業の概要	ショッピングセンター		
計画期間	令和4年4月1日	～	令和7年3月31日

2 地球温暖化対策計画書の公表方法等

公表期間	令和4年7月31日 ～ 令和7年3月31日		
公表方法	○	掲示 閲覧	(場所) アズパーク1F管理事務所
		ホームページ	(HPアドレス)
		冊子	(冊子名・ 入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	052-432-4333		

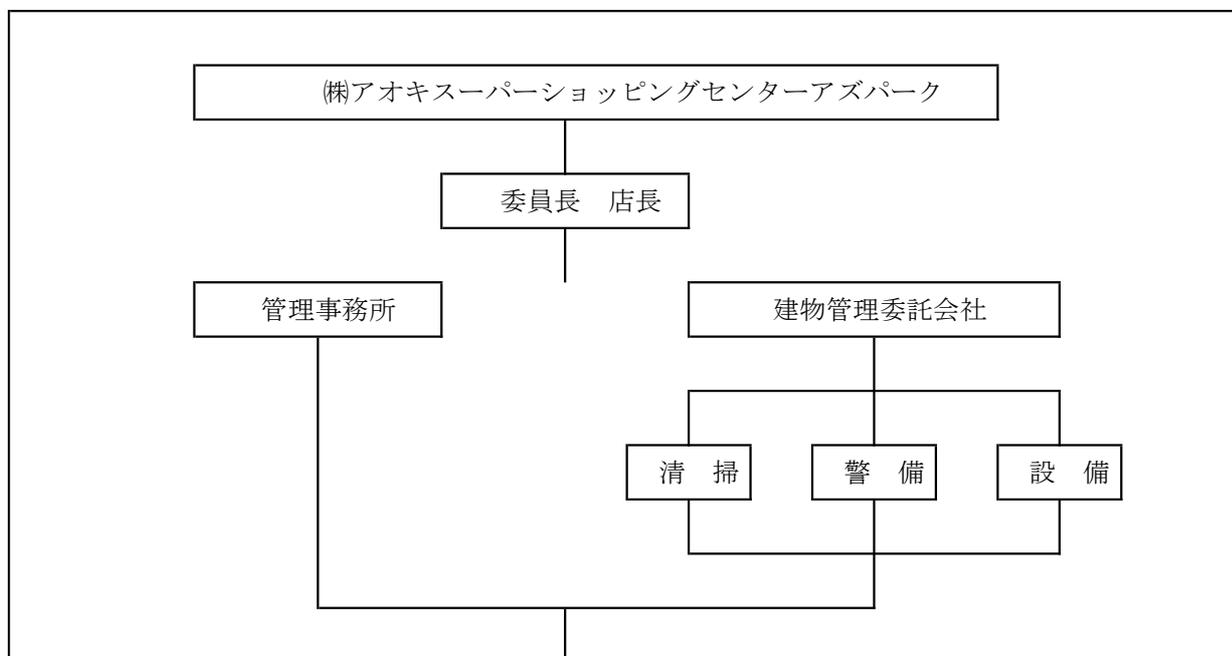
3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

当社は地球温暖化対策をはじめとする地球環境保全の重要性を認識し、事業活動のあらゆる分野を通じて持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

1. 環境施策の継続的な改善を図ります。
2. 省資源・省エネルギー活動の推進、事業で使用する電気・燃料等のエネルギー使用量を令和6年度までに令和3年度比9%削減を心掛けます。（令和元年よりコロナ禍の影響により営業時間短縮を行っているテナントがあり、今後も営業時間短縮があることを想定している）
3. 廃棄物の発生抑制、リサイクルの推進に努めます。
4. 従業員への環境教育を定期的実施します。

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和3年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,928	t-CO ₂
① （温 を 二 室 除 酸 効 く 化 果 炭 ガ ス 換 算 ） 排 出 量	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		1,928

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量及び原単位排出量
------------------	--------------

項 目	基準年度 令和3年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和6年度 目標削減率	
	温室効果ガス 総排出量	1,928	t-CO ₂	1,754	t-CO ₂	9.0

項 目	基準年度 令和3年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和6年度 目標削減率	
	原単位あたりの 排出量	96.24	kg-CO ₂ / m ²	87.58	kg-CO ₂ / m ²	9.0

(2) 目標設定の考え方

ショッピングセンター共用部分の店内照明、及び駐車場のLED化は完了しており、テナントにLED化を推進する。ショッピングセンターの内装改修により2階吹き抜け部分に天井を設置し空調運転の効率化を行う。エアコンの設定温度の適正化などの取り組みにより9%の削減を目標設定とする。令和に入りコロナ禍の影響によりテナントの営業時間短縮等により平成30年度と比較し令和3年度は大きく削減した。今後のコロナ禍によるテナントの営業時間の変更やショッピングセンターの閉店時間が20：00から21：00に変更したことによる影響を注視していく。

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標
省エネルギー・省資源の推進(冷暖房)	冷房温度28℃、暖房20℃に努める。 冷暖房区画の限定(不必要区画の空調停止) 令和4年のショッピングセンターの改装に伴い、2階の吹き抜け部分に天井を設置し冷暖房の効きを改善した。	建物管理委託会社に、具体的な取組内容を徹底させ、温室効果ガスの削減に努める。
省エネルギー・省資源の推進(照明)	使用していない部屋や休憩時・時間外の消灯の徹底。 開店前の館内照明の区画毎の必要箇所のみ点灯。 従業員トイレの人感センサー内蔵機器への更新。 駐車場水銀灯からLED照明への更新。 営業時間の1時間短縮。 令和4年のショッピングセンターの改装に伴い、テナントにLED化を推進。(複数店舗が実施)	従業員への節電意識向上を図って、温室効果ガス削減に努める。 建物管理委託会社に区画毎の必要箇所のみ点灯を徹底させ、温室効果ガス削減に努める。 営業時間1時間短縮により、令和3年度比9%の削減を達成する。
省エネルギー・省資源の推進(OA機器)	パソコン、コピー機の離席時及び退社時の電源オフに努める。	
廃棄物の排出抑制	両面コピー、裏紙利用によりコピー用紙を削減する。 オフィス古紙を分別、透明袋にてリサイクルとする。	

指針第1号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

ア これまでに実施している再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 計画期間における再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

--

(3) 環境価値（クレジット等）の活用

--

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

テナント照明のLED化の推進。 機器更新時は高効率機器を指定。

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

毎月8日は、省エネルギー・省資源推進の為、定時退社に努める。（従業員出入口に定時退社に努めるポップを掲示。及び閉店後、全館放送にて案内を行っている）
--